Wilson Center | Digital Archive
International History Declassified
digitalarchive.wilsoncenter.org

August 1985
Special Envoy Nakayama’s Visit to Syria (Summary of Remarks and Response)

Citation:

"Special Envoy Nakayama’s Visit to Syria (Summary of Remarks and Response)", August 1985, Wilson Center Digital Archive, Diplomatic Archives of the Ministry of Foreign Affairs of Japan, File No. 2017-0631. Translated by Stephen Mercado. https://digitalarchive.wilsoncenter.org/document/280684

Summary:

This summary of Special Envoy Nakayama’s visit to Syria includes discussion of bilateral relations between Japan and Syria, cooperation in economic and technical fields, cultural exchange, peace in the Middle East, and the Iran-Iraq conflict.

Original Language:

Japanese

Contents:

Original Scan
Translation - English

Wilson Center Digital Archive

Original Scan

秘
無期限

中山特使のシリア訪問

（発言・応答要領）

昭和６０年８月

Wilson Center Digital Archive Original Scan

（目　　次）

頁

Ⅰ　冒頭発言 …… 1

Ⅱ　二国間関係 …… 1

1.　二国間関係一般 …… 1

2.　経済・技術協力関係 …… 1

3.　文化交流関係 …… 6

Ⅲ　中東情勢 …… 9

1.　中東和平問題 …… 9

2.　イラン・イラク紛争 …… 10

Ⅳ　人質解放問題（別冊）

Wilson Center Digital Archive Original Scan

秘

I　冒頭発言

今般、中曽根総理の特使として貴国を訪問でき欣快。先般の安倍大臣の貴国訪問は両国関係の一層の発展にとり極めて有意義だつたと承知。今回は安倍大臣の中東訪問を受け、貴国指導者と二国間関係及び国際情勢につき意見交換を行うために派遣された次第。

II　二国間関係

1.　二国間関係一般

（発言要領）

(1)　日・シリアは従来より友好関係にあるところ就中シャラ外相の訪日及び今般の安倍大臣の貴国訪問により友好・協力関係が大きく進展。今後とも貴閣下の協力を得て両国関係が一層発展するよう希望。

(2)　中曽根総理としても両国関係の一層の発展のため尽力する意向。

2.　経済・技術協力関係

(1)　基本方針

（発言要領）

我が国は貴国との友好関係、中東和平において貴国の果たす役割及び貴国の開発ニーズの大きさに鑑み、今後とも可能な限りの経済技術協力を推進する所存。

Wilson Center Digital Archive Original Scan

秘

(2) 有償資金協力関係

(発言要領)

(イ) 先般、安倍大臣より、既供与方約束済の混合借款104億円を、「変電所プロジェクト」(注)に充当することとした旨申し上げたが、現在両国関係機関の間で具体的手続を進めていると承知。

(注) 「変電所プロジェクト」(The Substations Project)の概要

本件は「シ」国内の将来の電力需要増加に対処するため、現在及び将来に向けて大規模な発電所建設計画が進行中のところ、これらの発電電力をダマスカス等の消費地へ送電するためアドラ(ダマスカス郊外)ハマ及びアレッポの3カ所に変電所(400/230KV)を建設するもの。なお、送電線についてはチェッコスロヴァキアの協力で建設中。

なお、内訳は円借款(36.40億円、金利4%、25(7)年)及び輸出信用(67.60億円、金利6.3%、10(2)年)(()内は、据置期間)。

Wilson Center Digital Archive Original Scan

秘

(ロ) 新規円借款については、安倍大臣の中東訪問の際シリア側が第ノプライオリティーを与えたバニアス発電所プロジェクトにつき前向きに検討を始めていると承知。

(注) 「バニアス火力発電所プロジェクト」
(The Project to expand Banias Power Station)

本件は、将来の電力需要増に対処するため、バニアス発電所に170MWの発電機を2基増設するもの。所要外貨約300億円。入札評価中。

(3) 技術協力関係

(発言要領)

先般の安倍大臣の貴国訪問において、技術協力協定が締結されたことは誠に欣快。同協定の下、貴国に対する技術協力が一層安定的に拡大されることを期待。

Wilson Center Digital Archive Original Scan

（参考資料）

(1) 我が国の対シリア経済協力実績

	混合借款		無償資金協力	技術協力
	円借款	輸出信用		
79年度までの累計	156.08億円 メスケネ灌漑計画（73年度） （88.58） メスケネ灌漑計画（79年度） （31.10） その他プロジェクト（79年度） （36.40）	202.50億円 （なし） （134.90） （67.60）	なし	11.08億円 研修員受入 120人 調査団派遣 15人 専門家派遣 49人 協力隊派遣 44人 機材供与 2.35億円 プロ技協 1件 開発調査 1件
80年度	なし		0.41億円 文化省考古総局に対する遺跡修復機材	1.79億円 研修員受入 12人 調査団派遣 0人 専門家派遣 2人 協力隊派遣 11人 機材供与 0.43億円 プロ技協 0件 開発調査 0件
81年度	なし		0.35億円 文化省に対する視聴覚機材	1.83億円 研修員受入 11人 調査団派遣 0人 専門家派遣 3人 協力隊派遣 10人 機材供与 0.56億円 プロ技協 0件 開発調査 0件
82年度	なし		なし	1.29億円 研修員受入 10人 調査団派遣 0人 専門家派遣 0人 協力隊派遣 10人 機材供与 0.08億円 プロ技協 0件 開発調査 0件
83年度	なし		0.30億円 文化省アラブ音楽院に対する楽器 E／N 84.2.1	1.48億円 研修員受入 14人 調査団派遣 2人 専門家派遣 1人 協力隊派遣 9人 機材供与 0.13億円 プロ技協 0件 開発調査 0件
84年度	なし		なし	集計中
84年度までの累計	156.08億円	202.50億円	1.06億円	（83年度までの累計） 7.47億円 研修員受入 167人 調査団派遣 17人 専門家派遣 55人 協力隊派遣 84人 機材供与 3.56億円 プロ技協 1件 開発調査 1件

（混合借款は交換公文ベース、無償資金協力は予算ベース、技術協力はＪＩＣＡベース）

Wilson Center Digital Archive Original Scan

秘

(2) 既供与方約束済の混合借款104億円に係る経緯

74年2月「バニヤス精油所」を対象として270億円の混合借款をプレッジ(本邦企業に落札しなかつたため未使用となる)

79年12月26日、270億円の一部166億円を「メスケネ灌漑計画の追加借款として供与することとしてE/Nを締結し、他方、残り104億円を「変電所プロジェクト」、「通信プロジェクト」等5計画のうちから取上げ、充当することとしてE/N締結。

(3) シリアに対する技術協力実績

	82年度	83年度	84年度
研修員受入	10人	14人	11人
専門家派遣	0人	1人	0人
青年海外協力隊派遣	10人	9人	13人
機材供与	8百万円	13百万円	集計中

Wilson Center Digital Archive Original Scan

秘

3. 文化交流関係

(1) 基本方針

(発言要領)

文化交流は両国間の真の友好関係の基盤となる両国国民間の相互理解を増進する上で極めて有益と考える。特に今年度は、先般安倍大臣よりシャラ外相にも申し上げた様に貴国において日本週間が開催される予定、今後とも貴国との間で各分野にわたる文化交流が活発化することを希望。

(2) 「シリアにおける日本週間」の実施

(イ) 我が方は、貴国が古代より現代に至るまで、中東地域のみならず地中海全域における文化的中心の一つであり続けたことに深い敬意と称賛の念を抱いており、かかる文化的伝統を有する貴国との文化交流は、同じく古い伝統と文化を誇る我が国にとり、極めて有意義と考えている。

(ロ) かかる観点より、政府は、各種文化行事を通じ、我が国文化を広く貴国民一般に紹介すべく本年9月下旬にシリアで「日本週間」を開催するため現在諸般の準備を進めていると承知、貴国側の全面的協力方私よりもお願いしたい。

Wilson Center Digital Archive Original Scan

(ハ) また、その日本週間の開催に合わせ、我が方財界人、文化人から成るミッションが貴国に派遣される予定であり、私自身も副団長としてこれに参加する予定であるので、その際には、貴国側要人への表敬訪問の実現等につき配慮いただければ幸いである。

Wilson Center Digital Archive Original Scan

(注) 「シリアにおける日本週間」の概要(予定)

(9月21日(土)～27日(金))

行事	概要
1. ミッションのシリア派遣	(参加者) 水上中東調査会会長 (団長) 中山中東調査会理事長 服部セイコー社長 立石立石電機社長 平山郁夫(画家) 川口NHK放送総局長 山下経済同友会元専務理事 朝吹海外広報協会専務理事 他奈良県より1名
2. 日本民族音楽公演団の公演	北島三郎一行15名程度(演歌),吾妻徳彌一行5名(日本舞踊)によるボスラ(ダマスカス南方150 km)芸術祭参加公演(古代円形劇場)及びダマスカス公演(アーゼム宮殿)
3. シルクロード絵画展	平山郁夫画伯のシルクロード・シリア関係絵画約15点をダマスカスの国立博物館にて展示
4. 現代日本写真展	現代日本紹介用の写真パネル約60点(1点は60 cm X 90 cm)をダマスカスの国立博物館にて展示
5. 生け花・茶のデモンストレーション	南春月による生け花・茶のデモンストレーション
6. 日本映画祭	日本劇映画7本をダマスカスのアラブ文化センターにて日替わり上演(アラビア語字幕付、但し3本は英語字幕付)
7. 桜の苗木寄贈式	水上団長より桜の苗木(1,000本程度)の目録を受入先機関の代表に手交 苗木は11月下旬以降に空送し,ダマスカスを見下すカシオン山に植える予定
8. 古代沈没船遺物引き上げ作業開始式	NHKとシリア政府の協力により,タルトス沖で昨年発見された古代沈没船遺物(壺)の引き上げ作業が行われるところ,その開始式(テープ・カット)を日本週間中に行う
9. 祝賀レセプション	在シリア大使主催のレセプションを開催

Wilson Center Digital Archive Original Scan

秘

Ⅲ　中東情勢

1.　中東和平問題

（発言要領）

(1)　先般の安倍大臣の貴国訪問の際は、中東和平問題につき有意義な意見交換が行われたと承知。特に貴国と我が国が基本的にはほぼ同様の立場をとつていることを再確認し得たことは重要。

(2)　我が国は中東における公正かつ永続的な和平の実現のためには貴国の和平交渉参加が不可欠と考えており、貴国がその影響力を行使して同問題の解決に積極的に貢献されることを期待。

(3)　特に総理はかねてより中東地域の平和と安定については多大の関心を有しており、今後とも貴国との意見交換を重視していく意向。

Wilson Center Digital Archive Original Scan

2. イラン・イラク紛争

（発言要領）

(イ) 我が国は、従来より、イラン・イラク両国との間の政治対話のパイプを通じ、イ・イ紛争の早期平和的解決へ向けての環境造りに向け努力。

(ロ) 7月1日より5日まで訪日したラフサンジャニ・イラン・イスラム議会議長とも率直に意見交換。

(イ) イ・イ紛争の和平条件に関するイランの基本的立場には変化がなく、依然として、『サダム・フセイン大統領の処罰』を主張。

(ロ) 我が方よりは、6月末の本大臣と国連事務総長の意見交換も紹介しつつ、イランの安保理参加を強く慫慂。「ラ」議長は、従来通り、安保理の過去の決議はイランにとつて公正でなかつた旨非難しつつも、安保理出席については、全面的にこれを否定したわけではなかつた。

(ハ) 「ラ」議長は、安倍大臣のパッケージ案は原則として、受け入れられる旨表明。

(ハ) また7月17日には安倍大臣がアンマンにおいてアジーズ・イラク外相と会談。先方はイラン側が真剣に安倍大臣のパッケージ案を検討する

Wilson Center Digital Archive Original Scan

ならばイラン側との交渉を行う用意ありと発言。

(ﾊ)(ｲ) 我が国としては、今後共全ゆる機会を捉え、イ・イ両国に紛争の早期平和的解決の必要性と自制を訴えると共に、和平への環境造りのための努力を継続する所存。

(ﾛ) 貴国よりもイランに対し、陸上攻勢の自制及び和平の必要性を訴えて頂ければ幸い。

Wilson Center Digital Archive Original Scan

（我が方のかかる要請が米国よりの依頼に基づくものではないかと質問越す場合）

（応答要領）

我が国は、従来よりあらゆる形態のテロリズムに反対する立場より種々の働きかけを行つてきた次第であり、今回の貴国に対する要請も中曽根総理の独自のイニシアティヴに基づくものである。

Confidential

Special Envoy Nakayama's Visit to Syria

(Summary of Remarks and Response)

August 1985

(Table of Contents)

I Opening Remarks

II Bilateral Relations
□1. Bilateral Relations in General
□2. Cooperative Relations in the Economic and Technical Fields
□3. Relations in Cultural Exchange

III The Situation in the Middle East
□1. The Problem of Peace in the Middle East
□2. The Iran-Iraq Conflict

IV The Problem of the Release of the Hostages (Separate Document)

I Opening Remarks

It is a great pleasure at this time to visit your country as Prime Minister Nakasone's special envoy. I know that the recent visit of Minister Abe to your country was extremely significant for the further development of relations between our two countries. With Minister Abe's visit to the Middle East having taken place, I was sent this time to carry out exchanges of views with the leaders of your country regarding the bilateral relationship and the international situation.

II Bilateral Relations

1. Bilateral Relations in General

(Summary of Remarks)

(1) Japan and Syria have from the past to the present day enjoyed friendly relations and, in particular with Foreign Minister Shara's visit to Japan and the recent visit of Minister Abe to your country, these relations are now even more friendly. With the cooperation of Your Excellencies, I hope henceforth to develop further the bilateral relationship.

(2) Prime Minister Nakasone, too, intends to do his utmost for the further development of relations between our two countries.

2. Cooperative Relations in the Economic and Technical Fields

(1) Basic Policy

(Summary of Remarks)

In light of these friendly relations with your country, the role that your country plays in peace in the Middle East, and the greatness of your country's development needs, our country intends to promote henceforth economic and technical cooperation to the extent possible.

(2) Cooperative Relations in ODA Loans

(Summary of Remarks)

(a) Minister Abe recently said that Japan will apply mixed credits - provided and promised - of 10.4 billion yen to the Substations Project (note below). I think that the relevant organs of our two countries are now working out the concrete procedures.

(Note) Outline of The Substations Project

In order to address increases in Syria's future domestic demand for electric power, as plans for construction of large-scale power plants for the present and the future are going forward, this project is to construct three substations (400/230 kV) - at Adra (outside of Damascus), Hama, and Aleppo - to transmit electricity to Damascus and other areas of consumption. Also, power lines are being built with the cooperation of Czechoslovakia.

In addition, the breakdown is as follows: yen loans of 3.64 billion yen with an interest rate of 4 percent over 25 (7) years; export credits of 6.76 billion yen with an interest rate of 6.3 percent over 10 (2) years. Note: between the parentheses are the deferment periods.

(b) Regarding new yen loans, I know that positive consideration has started to be given regarding the Baniyas Thermal Power Plant that the Syrian side gave as its first priority at the time of Minister Abe's visit to the Middle East.

(Note) The Project To Expand the Baniyas Thermal Power Plant

In order to address future demand for electric power, this project adds two generators of 170 megawatts to the Baniyas Thermal Power Plant. The foreign currency required is 30 billion yen. Under bid evaluation.

(3) Relations in Technical Cooperation

(Summary of Remarks)

It is truly a great pleasure that a technical cooperation agreement was concluded at the time of the recent visit of Minister Abe to your country. It is hoped that, under this agreement, technical cooperation for your country will be further expanded in a stable manner.

(Reference Material)

(1) Our Country's Record of Economic Cooperation with Syria
□□□
□□□□

Mixed Credits

Grant Aid

Technical Cooperation
□□□
□□□□
Yen Loans

Export Credits
□□□
□□□□
Total through FY1979
¥15.608 billion ¥20.25 billion

Maskaneh irrigation project (FY73)
(¥8.858 billion) (none)

Maskaneh irrigation project (FY79)
(¥3.11 billion) (¥13.49 billion)

Other projects (FY79)
(¥3.64 billion) (¥6.76 billion)

none
¥1.108 billion
Trainees accepted 120
Survey team members sent 15
Specialists sent 49
Cooperation team members sent 44 Equipment, materials ¥235 million
Project technical cooperation 1
Development surveys 1
□□□
□□□□
FY1980
none

¥41 million

Restoration materials for historical remains to Ministry of Education's General Directorate of Archaeology

¥179 million
Trainees accepted 12
Survey teams sent 0

Specialists sent 2
Cooperation team members sent 11
Equipment, materials ¥43 million
Project technical cooperation 0
Development surveys 0
□□□
□□□□
FY1981
none

¥35 million

Audiovisual equipment to Ministry of Education

¥183 million
Trainees accepted 11
Survey teams sent 0
Specialists sent 3
Cooperation team members sent 10
Equipment, materials ¥56 million
Project technical cooperation 0
Development surveys 0
□□□
□□□□
FY1982
none

none

¥129 million
Trainees accepted 10
Survey team members sent 0
Specialists sent 0
Cooperation team members sent 10
Equipment, materials ¥8 million
Project technical cooperation 0
Development surveys 0
□□□
□□□□
FY1983
none

¥30 million

Musical instruments for the Culture Ministry's Arab Music Industry
E/N 84.2.1

¥148 million
Trainees accepted 14

Survey team members sent 2
Specialists sent 1
Cooperation team members sent 9
Equipment, materials ¥13 million
Project technical cooperation 0
Development surveys 0
□□□
□□□□
FY1984
none

none

In process of tabulating
□□□
□□□□
Total by FY1984
¥15.608 billion

¥20.25 billion

¥106 million

(Total through FY1983□
¥747 million
Trainees accepted 167
Survey team members sent 17
Specialists sent 55
Cooperation team members sent 84
Equipment, materials ¥356 million
Project technical cooperation 1
Development surveys 1
□□ □□
(Mixed credits are on basis of Exchange of Notes; ODA loan cooperation is on budget basis; technical cooperation is on JICA basis)

(2) Details on Mixed Credits of ¥10.4 Billion Provided and Promised

In February 1974, mixed credits of 27 billion yen were pledged for the Baniyas Thermal Power Plant (There were no successful bids from Japanese enterprises, so the credits were not used.)

On December 26, 1979, an E/N was concluded, for a part of the 27 billion yen - 16.6 billion yen - to provide an additional loan for the Maskaneh Irrigation Project. In the meantime, an E/N was concluded, with the remaining 10.4 billion yen taken from five plans, including the Substation Project and the Communications Project, and allocated.

(3) Achievements in Technical Cooperation with Syria
□

□□□
□□□□

FY1982
FY1983
FY1984 □□□
□□□□
Trainees accepted
10
14
11 □□□
□□□□
Specialists sent
0
1
0 □□□
□□□□
JICA members sent
10
9
13 □□□
□□□□
Equipment, materials
¥8 million
¥13 million
In process of tabulation □□ □□

3. Relations in Cultural Exchange

(1) Basic Policy

(Summary of Remarks)

Cultural exchange between our two countries is considered to be extremely important for increasing mutual understanding between the peoples of our two countries, which will be the basis for real relations of friendship between our two countries. For this fiscal year in particular, we plan for Japan Week to be held in your country, as Minister Abe recently said to Foreign Minister Shara, and we hope for the invigoration of cultural exchange in every field with your country in the future.

□ Carrying Out Japan Week in Syria

(a) We have deep respect and praise for your country's continuing to be a cultural center from ancient times until today, and not only in the Middle East but throughout the Mediterranean region. We consider cultural exchange between your country, which has such a cultural tradition, and ours, which similarly boasts an ancient tradition and culture, to be extremely significant.

(b) I understand that my government, from such a point of view, is now making various preparations for the holding of Japan Week in Syria in late September this

year to introduce broadly to your country's general public our country's culture through various cultural events. I would like to ask your country for its complete cooperation.

(c) In addition, together with the holding of Japan Week, the plan is to send to your country a mission composed of our businessmen and cultural figures. I myself am planning to participate in this mission as deputy director. Therefore, I would be grateful for your consideration in realizing courtesy calls on key figures of your country.

(Note) Outline of Japan Week in Syria (Plan)

(September 21 (Saturday) - 27 (Friday))
□□□
□□□□
Event

Summary □□□
□□□□
1. Dispatch of mission to Syria
Participants:
Middle East Institute of Japan Chairman Mizukami
Middle East Institute of Japan President Nakayama
Seiko President Hattori
Omron President Tateishi
Ikuo Hirayama (painter)
NHK President Kawaguchi
Former Keizai Doyukai Senior Managing Director Yamashita
Japan Center for Intercultural Communications Senior Managing Director Asabuki
Also one person from Nara Prefecture
□□□
□□□□
2. Japanese Music Ensemble Public Performances

Public performances by Saburo Kitajima's party of 15 (enka) and Tokuya Azuma's party of 5 (Japanese dance) at the Bosra Festival (150 kilometers south of Damascus) and Damascus performance (at the Al Azem Palace) □□□
□□□□
3. Silk Road Art Exhibition

Exhibition at the National Museum of Damascus of around 15 works of the painter Ikuo Hirayama related to the Silk Road and Syria □□□
□□□□
4. Contemporary Japan Photo Exhibition

Exhibition of approximately 60 photo panels (each 60 cm x 90 cm) introducing contemporary Japan at the National Museum of Damascus. □□□
□□□□
5. Ikebana, Tea Demonstrations
Ikebana, tea demonstrations by Minami, Katsuki □□□
□□□□

6. Japanese Film Festival

Daily showings of seven Japanese films at the Arab Cultural Center in Damascus (with Arabic subtitles, except for three films subtitled in English) □□□

□□□□

7. Cherry Blossom Tree Seedling Donation Ceremony

Mission Leader Mizukami to hand over to representatives of the receiving organization the inventory of cherry blossom tree seedlings (about 1,000 seedlings). The seedlings will be sent after late November. The plan is to plant them on Mount Qasioun, which overlooks Damascus. □□□

□□□□

8. Inaugural Ceremony for Project To Raise Remains of Ancient Sunken Ship

With the undertaking of a cooperative project of NHK and the Syrian Government to raise the remains of an ancient sunken ship (with amphora vessels) discovered last year in the waters off Tartus, the project's inaugural ceremony (ribbon cutting) is to take place during Japan Week. □□□

□□□□

9. Celebration reception

Holding of a reception hosted by the Japanese Ambassador to Syria □□ □□

III The Situation in the Middle East

1. The Problem of Peace in the Middle East

(Summary of Remarks)

(1) I understand that there took place a significant exchanges of views during the Minister Abe's recent visit to your country on the problem of peace in the Middle East. Particularly important is having reconfirmed that your country and our country basically hold nearly the same position.

(2) Our country considers indispensable your country's participation in peace negotiations in order to achieve a just and lasting peace in the Middle East. We hope that your country will exercise its influence and positively contribute to the resolution of this problem.

(3) In particular, the Prime Minister has for some time been greatly interested in the peace and stability of the Middle East, and he intends to attach great importance henceforth as well to exchanges of views with your country.

2. The Iran-Iraq Conflict

(Summary of Remarks)

(1) Our country has to the present day, through a pipeline of political dialogue between Iran and Iraq, worked towards the creation of an environment for an early and peaceful resolution of the Iran-Iraq conflict.

(2) We engaged in a frank exchange of views with Majlis Speaker Rafsanjani when he

visited Japan from July 1 to 5.

(a) He said that there was no change in Iran's fundamental position concerning the conditions for peace in the Iran-Iraq conflict and called for "the punishment of President Saddam Hussein."

(b) Our side introduced Foreign Minister Abe's exchange of views at the end of June with the United Nations Secretary-General and strongly recommended that Iran participate in the Security Council. Majlis Speaker Rafsanjani, although critical of the Security Council's past resolutions for never having been fair to Iran, did not completely reject the recommendation of attending the Security Council.

(c) Majlis Speaker Rafsanjani declared that he could, in principle, accept Minister Abe's package proposal.

(3) Also, on July 17, Minister Abe met with Iraqi Foreign Minister Aziz in Amman. Foreign Minister Aziz remarked that, if the Iranian side were seriously considering Minister Abe's package proposal, then his side would be prepared to engage in negotiations with the Iranian side.

(4) (a) Our country will henceforth take every opportunity to call for the need for an early and peaceful resolution of the conflict between Iran and Iraq and appeal for self-restraint, and we intend to continue working towards the creation of an environment for peace.

(b) We would be happy if your country would call on Iran for self-restraint in ground offensives and appeal for the need for peace.

(In the event of being questioned if our side's call for this is based on a request from the United States)

(Summary of Response)

Our country has until the present day made various strong appeals from the position of opposing terrorism in every form. This request now made of your country, too, is based on Prime Minister Nakasone's own initiative.